

春野菜の生産（生育）・出荷状況について

（全国農業協同組合連合会）

1. 平成25年産春キャベツ(4月～6月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成25年3月現在

	当初計画(24年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					播種時期	定植時期
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比					
全農千葉 県本部	1,060	100%	37,950	105%	37,500	103%	・春系: 10/中～12/上	・春系: 11/下～3/上	・春系: 3/下～6/上	・出荷開始時期: 4/上(平年並み)。 ・出荷最盛期: 5/中～6/中(平年並み)。	作付面積は横ばいで、作柄 良好のため、前年・直近3か年 をやや上回る出荷を見込んで いる。
全農神奈川 県本部	734	99%	37,595	109%	35,250	103%	・春系: 10/中～	・春系: 11/中～2/下	・春系: 3/下～6/下	・出荷開始時期: 3/下(平年並み) ・出荷最盛期: 4/下～5/上(平年並み)	前年・直近3か年をやや上回る 見込み。
愛知県経済 連	600	100%	28,590	96%	26,800	102%	・冬系: 8/下 ・春系: 9/下～10/末 ・初夏: 10/下～1/上	・冬系: 9/下 ・春系: 10/下～12/上 ・初夏: 11/下～2/下	・冬系: 3月～4月 ・春系: 3/下～4/下 ・初夏: 5/上～6/下	出荷開始時期、出荷最盛期 は、平年並みの見込み。	・冬系・春系:冬系の残量があ り、4月は例年並み以上の出 荷見込む。 ・初夏:作付微増で、平年以 上の出荷量見込む。(昨年は 1～2月の冷え込みにより、5 月分の6月への後ズレが大き かった)
その他	1,673	100%	36,946	114%							
対象県 共販計	4,067	100%	141,081	106%							

コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・全農千葉 :前年比100% ・全農神奈川:前年比99% ・愛知経済連:前年比101%。「初夏どり」は、冬キャベツからの連作・他品目からの移行により微増。
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農千葉 :1月以降は低温等の影響からやや遅れていたが、3月が気温高のため回復傾向となり、作柄良好。 ・全農神奈川:冬期の低温により生育にバラツキが見られる。今後の天候によるが、一部1～2週間程度遅れる産地もある見込み。 ・愛知経済連:「冬・春系」は、1-2月には適度に降雨があり、日照もあることから品質は安定する見込み。大玉傾向。「初夏どり」は、冷え込みもあるが、降雨・日照もあり大きな影響は見られない。現時点では生育順調。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	計
全農千葉県本部	25年見通し ^{注1}	4,500	15,500	17,500	37,500
	前年比	133%	97%	104%	103%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	114%	101%	107%	105%
全農神奈川県本部	25年見通し ^{注1}	16,466	16,337	2,447	35,250
	前年比	126%	90%	74%	103%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	118%	93%	78%	102%
愛知経済連	25年見通し ^{注1}	16,800	6,200	3,800	26,800
	前年比	106%	109%	79%	102%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	108%	107%	99%	106%
計 (上記3団体)	25年見通し ^{注1}	37,766	38,037	23,747	99,550
	前年比	117%	96%	95%	103%
	3年ヶ平均 ^{注2} 比	113%	98%	101%	104%

注1:3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2:平成22年～24年の実績より算出。

コメント(上記3団体)

昨年の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・4月:冬期から春先の低温により、生育遅れの影響で、少なめの出荷量となった。 ・5～6月:遅れ分が重なり、出荷量が増加した。
出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・4月:愛知、神奈川県産のシェアが高くなる時期。3月の気温上昇により、生育が促進されており、前年・直近3年平均を上回る見込み。 ・5～6月:千葉、神奈川県産のシェアが高くなる時期。4月までの遅れ分が重なり、出荷量が増加した前年を下回り、直近3年平均並みとなる見込み。

2. 平成25年産春だいこん(4月～6月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成25年3月現在

	当初計画(24年9月作成)		3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し			
	面積		出荷量					出荷量		出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通した出荷見通し
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農千葉 県本部	730	102%	31,000	106%	30,000	102%	・春系: 11/上～12/上	—	・春系: 3月～5月	・出荷開始時期: 4/上(平年並み)。 ・出荷最盛期: 4/下～5/下(平年並み)。	前年・直近3ヶ年平均並みの 出荷を見込む。
全農長崎 県本部	136	100%	11,050	98%	10,139	90%	11/上～3/中	—	3/上～5/下	平年並みの出荷を見込む。 ・出荷開始時期:3/上から。 ・出荷最盛期:3/下～4/中。	・全体の作付面積は前年並 みとなっており、出荷量は年 比90%、直近3ヶ年平均比 89%を見込む。 ・月ごとには、3月出荷作型が 前年よりも増加している。
その他	533	100%	24,298	114%							
対象県 共販計	1,399	101%	66,348	107%							

コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・全農千葉:前年比101%(一部地区において、前年比で微増となる)。 ・全農長崎:全体の作付面積は前年並み。
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農千葉:1月以降は低温等の影響からやや遅れていたが、3月が気温高のため回復傾向となり、作柄良好。 ・全農長崎:播種は例年並みに開始したが、年内の降雨により播種作業に影響がでた。生育についても天候の影響から生育遅れの圃場も散見される。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	計
全農千葉県本部	24年見通し ^{注1}	14,500	12,000	3,500	30,000
	前年比	105%	98%	105%	102%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	98%	101%	115%	101%
全農長崎県本部	24年見通し ^{注1}	5,037	4,602	500	10,139
	前年比	96%	98%	38%	90%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	96%	96%	37%	89%
計 (上記2団体)	24年見通し ^{注1}	19,537	16,602	4,000	40,139
	前年比	103%	98%	86%	99%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	97%	100%	91%	98%

注1:3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2:平成22年～24年の実績より算出。

コメント(上記3団体)

昨年の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・4月:冬期から春先の低温により、生育遅れの影響で、直近3ヶ年で最も少ない出荷量となった。 ・5月:遅れ分が重なり、直近3ヶ年で最も多い出荷量となった。
出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・4～5月:主産2県の出荷量は、概ね直近3ヶ年平均並みを見込む。 ・6月:青森産のシェアが高くなる。3月上旬時点、前年同様残雪が多く播種作業が停滞、平年より1旬程度遅い6/中以降に本格出荷となる見込み。現時点では、ほぼ前年並みの作付けを見込んでいる。

3. 平成25年産たまねぎ(4月～10月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成25年3月現在

	当初計画(24年9月作成)		3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し			
	面積		出荷量		出荷量		播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通した出荷見通し
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比					
ホクレン	4,223	100%	205,250	100%	156,500	102%	・極早生: 2月 ・早生: 2月 ・中生・晩生: 2月	・極早生: 4/上～5/中 ・早生: 4/中～5/中 ・中生・晩生: 4/上～5/中	・極早生: 8月 ・早生: 8/下～11月 ・中生・晩生: 11～4月	現在、作業初期のため見通し 立たず。平年作を見込むと、 10月がピークとなる。	4～7月は出荷残量を考慮す ると、前年・直近3ヶ年平均を 下回る見込み。 8～9月は24年産並みを見込 む。
JAさが	2,165	102%	79,401	118%	83,150	124%	・極早生: 9/中 ・早生(マルチ・露 地): 9/中～9/下 ・中晩生: 9/下	・極早生: 11/上 ・早生(マルチ・露 地): 11/中～11/下 ・中晩生: 11/下～12月	・極早生: 3/上～4/上 ・早生(マルチ・露 地): 4/中～5/下 ・中晩生: 6/上～	・出荷開始時期:3/上。 ・出荷最盛期:平年並みに4月 ～5月となる見込み。	現在、生育順調のため、前年 及び過去3ヶ年を上回る出荷 を見込む。(特に過去3ヶ年は 早生種、昨年は中晩生の収 量が落ち込んでいる)
全農兵庫 県本部	1,662	100%	46,965	109%	41,980	98%	・極早生: 8/下～9/上 ・早生: 9/下 ・中生: 9/下 ・晩生: 9/下	・極早生: 10/中～10/下 ・早生: 11/上～11/下 ・中生: 11/中～12/下 ・晩生: 11/中～12/下	・極早生: 3/下～4/上 ・早生: 5/上～5/上 ・中生: 6/上～7/下 ・晩生: 8/上～3/上	・出荷開始時期:極早生が3/ 下から出荷される。 ・出荷最盛期:7月～8月。	作付面積微減及び、早生品 種の定植時の降雨により、総 出荷量は、前年をやや下回る 見込み。
その他	1,983	101%	79,567	122%							
対象県 共販計	10,033	101%	411,183	108%							

コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン :前年比101%(前年は雹害による約140haの廃耕分を差し引いている。作付段階の面積としては横ばい) ・JAさが :前年比100%。(極早生、早生は増加、中晩生は減少) ・全農兵庫:前年比99%(高齢化により減少傾向)
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン :2月より播種作業開始。3月上旬の暴風雪で、一部ハウス損傷があったものの、影響はほとんど無い模様。 ・JAさが :定植時期の降雨、低温によりやや遅れての生育となっていたが、現在は生育順調となっている。 ・全農兵庫:極早生は、順調に定植ができているが、早生は雨の影響で定植遅れており、廃棄する苗も出てきている。 中生・晩生は定植が遅れていたが、天候の回復とともに、順調となってきている。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
ホクレン	24年見通し ^{注1}	25,000	3,000	500	0	20,000	50,000	58,000	156,500
	前年比	98%	72%	60%	#DIV/0!	103%	100%	107%	102%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	95%	85%	88%	0%	111%	110%	105%	105%
JAさが	24年見通し ^{注1}	20,000	26,000	13,500	14,000	8,000	1,500	150	83,150
	前年比	226%	106%	129%	121%	80%	88%	158%	124%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	181%	113%	95%	120%	84%	145%	238%	118%
JA全農兵庫	24年見通し ^{注1}	180	7,000	6,800	11,000	12,500	3,500	1,000	41,980
	前年比	89%	94%	97%	101%	98%	94%	94%	98%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	83%	102%	103%	98%	101%	90%	99%	100%
計 (上記3団体)	24年見通し ^{注1}	45,180	36,000	20,800	25,000	40,500	55,000	59,150	281,630
	前年比	131%	100%	114%	111%	96%	99%	107%	107%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	121%	108%	97%	109%	101%	109%	105%	108%

注1: 3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2: 平成22年～24年の実績より算出。

コメント(上記3団体)

昨年の特徴	・4～10月の出荷量合計では、直近3ヶ年平均並みとなった。
出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・4月 : 北海道および佐賀産のシェア高い時期。特に佐賀産の増加率高く、前年、直近3ヶ年平均を大幅に上回る見込み。 ・5～7月 : JAさが、全農兵庫のシェアが高い時期。概ね直近3ヶ年平均並み～やや増を見込む。 ・8～10月 : ホクレンのシェアが高い時期。現時点では、主産3団体計で3ヶ年平均を上回る出荷量を見込む。

4. 平成25年産春夏にんじん(4月～7月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成25年3月現在

	当初計画(24年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通した出荷見通し
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農徳島 県本部	965	98%	38,430	100%	39,835	115%	・トンネル: 10/中～1/中	—	・トンネル: 3/上～6/下	時期については、以下の通り 平年並の見込み。 ・出荷開始時期:3/上。 ・出荷最盛期:4/中～下。	全体の作付面積は微減となっ ているが、順調な出荷を見込 んでおり、出荷量は前年比 115%、直近3ヶ年平均比 108%を見込む。 (計画数量39,835t)
全農千葉 県本部	500	100%	15,150	100%	13,350	102%	・春夏: 12/下～2/下	—	・春夏: 4/下～7/上	・出荷開始時期: 4/下(平年並み)。 ・出荷最盛期: 5/下～6/下(3月以降の天 候次第だが遅れ気味)。	期間を通した出荷量見込み は、概ね前年・直近3ヶ年平均 並みを見込む。
その他	944	101%	32,019	100%							
対象県 共販計	2,409	100%	85,599	100%							

コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・全農徳島:前年比99%(高齢化により生産者は減少傾向にあるが、一方で規模拡大を図る生産者もみられる。) ・全農千葉:前年比100%。(千葉・東葛地区は高齢化や都市化の影響で微減も、印旛地区で西瓜等の転換があるため全体的には横ばいの見込み)
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農徳島:冬期の低温により1週間程度生育遅れているが、2月以降の気温上昇し、日照時間も長くなってきていることから生育順調となる見込み。 ・全農千葉:年内播種分は順調。年明け以降播種分は天候不順の影響から作業遅れ。1月・2月の低温から全体的に生育も遅れ気味。作柄は平年並み。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	7月	計
全農徳島県本部	24年見通し ^{注1}	22,040	16,190	1,605	0	39,835
	前年比	144%	87%	207%	0%	115%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	123%	92%	117%	0%	108%
全農千葉県本部	24年見通し ^{注1}	550	2,600	8,000	2,200	13,350
	前年比	105%	103%	107%	86%	102%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	107%	98%	103%	99%	102%
計 (上記2団体)	24年見通し ^{注1}	22,590	18,790	9,605	2,200	53,185
	前年比	143%	89%	116%	86%	111%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	123%	93%	105%	98%	107%

注1: 3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2: 平成22年～24年の実績より算出。

コメント(上記3団体)

昨年の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・4月: 直近3ヶ年で最も少ない出荷量となった。 ・5月: 直近3ヶ年で最も多い出荷量となった。 ・6月: 直近3ヶ年で最も少ない出荷量となった。 ・7月: 直近3ヶ年で最も多い出荷量となった。
出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・4～5月: 徳島のシェア高い時期。直近3ヶ年平均を上回るが、5月は下回る見込み。 ・6月 : 千葉のシェア高い時期。直近3ヶ年平均を上回る見込み。 ・7月 : 青森産のシェアが高くなる。3月上旬時点、前年同様残雪が多く播種作業が停滞、平年より1旬程度遅い7/上以降に本格出荷となる見込み。 現時点では、ほぼ前年並みの作付けを見込んでいる。

5. 平成25年産春はくさい(4月～6月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成25年3月現在

	当初計画(24年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通した出荷見通し
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農茨城	175	100%	15,000	103%	15,000	103%	・極早生、早生: 11/中～1/中 ・中生: 1/上～2/下 ・晩生: 2/上～3/中	・極早生、早生: 12/下～2/下 ・中生: 2/上～3/下 ・晩生: 3/上～4/中	・極早生、早生: 3/上～4/中 ・中生: 4/中～5/下 ・晩生: 5/下～6/中	・出荷開始時期:3/上(平年並)。 ・出荷最盛期:5/上～中となる見込み。	前年を上回り(103%)、直近3ヶ年平均並みの出荷を見込む。
全農長野	302	99%	15,640	99%	15,940	104%	2/中～4/中	3/下～5/上	5/下～6/下	・出荷開始時期:5/下から ・出荷最盛期:6月から	7月出荷分の適正生産をはかるため、作付を6月出荷へ前倒しするため、前年比104%、直近3ヶ年平均比107%と増加を見込む。
その他	166	100%	4,547	107%							
対象県共販計	643	99%	35,187	102%							

コメント

作付面積 (3月調査)	・全農茨城:前年比100%。 ・全農長野:前年比105%。7月出荷分の適正生産をはかるため、高冷地は6月出荷へ前倒し傾向。一方、準高冷地は微減傾向。
生育状況	・全農茨城:早い作型の場合は、生育期の低温・干ばつの影響により、生育遅れが見られる。晩生は現在定植中。 ・全農長野:例年どおり播種され、苗の生育も順調。定植は3月下旬からの予定。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	計
全農茨城県本部	24年見通し ^{注1}	5,000	7,500	2,500	15,000
	前年比	98%	103%	112%	103%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	91%	104%	109%	100%
全農長野県本部	24年見通し ^{注1}	0	940	15,000	15,940
	前年比	0%	99%	104%	104%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	0%	134%	107%	109%
計 (上記2団体)	24年見通し ^{注1}	5,000	8,440	17,500	30,940
	前年比	98%	102%	105%	103%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	91%	106%	108%	104%

注1:3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2:平成22年～24年の実績より算出。

コメント(上記3団体)

昨年の特徴	・6月:直近3ヶ年で最も多い出荷量となった。
出荷見通し	・4～5月:茨城のシェア高い時期。4月は、生育期の低温・干ばつの影響により、生育遅れが見られるため、前年及び直近3ヶ年平均を下回る見込み。 ・6月 :長野のシェアが高い時期。今後の天候によるが、平年並みの気温経過になると想定して、前年、直近3ヶ年平均とも上回る見込み。

6. 平成25年産春レタス(4月～5月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成25年3月現在

	当初計画(24年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					播種時期	定植時期
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比					
全農茨城県本部	640	100%	15,250	140%	12,700	116%	・3月どり: 10/下～11/上 ・4月どり: 11/中～12/下 ・5月どり: 1/上～2/中	・3月どり: 11/下～12/下 ・4月どり: 1/上～2/上 ・5月どり: 2/中～3/下	・3月どり: 3/上～3/下 ・4月どり: 4/上～4/下 ・5月どり: 5/上～5/下	・出荷開始時期: 平年並みに2/上からとなった。 ・出荷最盛期: ほぼ平年並に4/上～中となる。	定植時期に低温で推移したものの、その後適度な降雨があったことや、気温も高くなってきたことで平年並みの出荷を見込む。
全農長野県本部	573	102%	11,249	106%	10,200	101%	1/中～3/下	2/下～4/中	4/中～5/下	・今後の天候次第であるが、4月最終週頃から出荷開始。 ・5月連休明けから増加傾向に入り、出荷最盛期は5月20日前後の見通し。	6月から5月への出荷時期の誘導をはかるため、出荷量は前年比101%、直近3ヶ年平均比107%を見込む。
全農兵庫県本部	464	105%	10,132	111%	8,700	96%	・トンネル: 12/中～1/中 ・露地: 1/中～2/中	・トンネル: 1/中～3/上 ・露地: 3/上～4/上	・トンネル: 4/上～5/上 ・露地: 5/上～5/下	・出荷開始時期: 平年並みに4/上からの見込み。 ・出荷最盛期: 平年並に4月となる見込み。	全体の作付面積は微減となっており、出荷量は前年、直近3ヶ年平均ともやや下回る見込み。
その他	595	101%	9,531	103%							
対象県共販計	2,272	102%	46,162	116%							

コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・全農茨城: 結球レタスは産地により増減あり、非結球レタスでは微増。全体では前年比102%。 ・全農長野: 前年比108% ・全農兵庫: 前年比98%(高齢化により減少傾向)
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農茨城: 年内～年明けの低温及び1月14日の降雪により、1週間程度定植作業が停滞した。現時点、依然として生育遅れが散見される。 ・全農長野: 本年は雪が多く、低温傾向だったため、3月から定植作業が始まった。生育については4月の天候がポイントとなる。 ・全農兵庫: トンネルは低温の影響から生育が遅れている。露地は定植前。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	計
全農茨城県本部	24年見通し ^{注1}	8,200	4,500	12,700
	前年比	109%	132%	116%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	100%	103%	101%
全農長野県本部	24年見通し ^{注1}	200	10,000	10,200
	前年比	143%	100%	101%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	104%	107%	107%
全農兵庫県本部	24年見通し ^{注1}	5,100	3,600	8,700
	前年比	95%	97%	96%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	95%	100%	97%
計 (上記3団体)	24年見通し ^{注1}	13,500	18,100	31,600
	前年比	104%	106%	105%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	98%	104%	101%

注1: 3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2: 平成22年～24年の実績より算出。

コメント(上記3団体)

昨年の特徴	4月、5月: 主産3団体計では、直近3ヶ年で最も少ない出荷量となった。
出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・4月: 茨城のシェアが高い時期。前年は上回るものの直近3ヶ年平均は下回る出荷量を見込んでいる。 ・5月: 長野のシェアが高い時期。今後の天候によるが、平年並みの気温経過になると想定して、前年、直近3ヶ年平均とも上回る見込み。